

# 議会だより

行政報告・補正予算

意見書…………… 2～3

町政のそこが聞きたい…………… 4

一般質問…………… 5～8

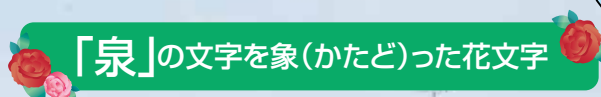
委員会などの動き…………… 9～11



平成23年、町有地【旧日本ベニヤ(株)跡地】のボーリング水を『ピリカの泉』と名付け、水汲み場、山葵(わさび)栽培場、池を作り、地域のミニ公園『ピリカの泉公園』となる。



今年20数年振りに川北の地に復活した元祖『水中バレーボール大会』…大盛況！



6月に川北連合町内会『花いっぱいプロジェクト部会』によって花壇が造成・整備された『ピリカの泉』の築山



『西日本豪雨災害義援金』を北海道共同募金会 標津分会の今野分会長に手渡す竹本実行委員長

## ピリカの泉祭り実行委員会

実行委員長：竹本 年美

年会費：2,000円

会員数：83名

『ピリカの泉祭り』開催日  
7月第2土、日曜日

暑い夏の一瞬、『ピリカの泉』の辺(ほり)で夕涼みを合い言葉に始めた『ピリカの泉井戸端会議』の小さな集いが、全道各地より骨董商が、町内外よりフリーマーケット等の出店が漸増し、地域の一大イベントに化し今年で8回目の『ピリカの泉祭り』となる【7月14、15日】

発行／北海道標津町議会

編集／広報特別委員会

# 北海道初の震度7

## 胆振東部地震の影響は！

### 金澤瑛町長の行政報告

#### 酪農業

今年度前半の4月から5月の天候は、日照・気温・降水量とも順調に経過していたが、6月中旬以降の天候が不順であったことから、牧草の生育は総じて平年並みとなった。

一方、収穫については、6月中旬以降の断続的な降雨により大幅に遅れ適期収穫がかなわず、さらに、2番牧草についても1番牧草の収穫作業のずれ込みが、そのまま生育の遅れにつながっている。

このように、今年は自給粗飼料の品質低下は否めず、今後給与されてゆく段階での乳量、乳質、分娩障害などへの影響が憂慮されている。

現在は、昨年産の自給粗飼料の給与が行われている中、4月から8月末現在の生乳生産

量については、対前年比100・1%、累計で4万4269トン（前年比較+51トン）となっている。

また、今回の停電による酪農業への影響については、乳業工場が生乳の受入れを約3日間に亘って停止したことにより、生乳を乳業工場に運び入れできず生産者個々により止む無く廃棄処理を行い、9月10日現在推定で生産額約7000万円弱の逸失となっている、今後、乳牛の疾病等も考えられることから、停電による影響額の全容は明らかになり次第、報告をする。

#### 漁業

秋鮭漁については9月4日から水揚げとなり、標津漁業協同組合における9月13日までの水揚げ量は、201・7トン（昨年同

日までは114・6トン）となっている。漁獲尾数は昨年を上回っているが、1尾当たりの重量が昨年より2割程小さく今の時期としては、小振りな個体が多い結果となっている。

水揚額については、昨年同時期は平均単価804円/kgであったのが、575円/kgにとどまっている。

なお、9月10日の標津沖の表層水温は約17度であり（昨年同日18度）、昨年よりやや低目の状況である。

ホタテ漁については、8月20日に夏の繰業を終え漁獲量は、2532トン（昨年2368トン）であった。漁獲量は前年より7%の増となっている。今後は、11月より秋繰業が開始され、計画では1120トンの漁獲量を予定している。

水揚額は4億5千万

#### 胆振東部地震の影響

9月6日（木）未明に発生した「胆振東部地震」は、全道一円が停電するなど未曾有の事態となり、電気は回復したものの、その影響は未だ収まることなく続いている。

大きく被災された地域の皆さんには、心からのお見舞いと、不幸にして亡くなられた方々には、心からご冥福をお祈りする。

この地震による本町の震度は3であり、直接的な被災はなかったが、停電の長期化によって基幹産業や商店、事業所の活動に影響が

出ている。

商店や宿泊業において、宿泊のキャンセルや冷凍商品の破棄があつたと報告を受けている。

それにも増して何と言つても大きかったのは住民生活への影響である。

停電が長引いただけで、ここまで生活が停滞し、さらに長引けば精神的にも肉体的にもパニック現象も起きようかという状況であつたかと思われる。

これに、断水が加わり、そして、真冬の吹雪の時に起きていたらと思うと戦慄を覚える思いである。

町としても、この地震による改善点、反省点は、何点もある訳であり、早速その緒に就いてまいる。

## 同意案件

### 教育委員会委員 高橋 靖子 氏

標津町南2条西1丁目1番11号  
〈任期〉  
平成30.11.1～34.10.31

## 意見書

○林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

提出者

大垣 勇 議員

○平成30年北海道胆振東部地震に関する意見書

提出者

木下 孝 議員

## 一般会計の補正予算

### 主なもの

(単位:千円)

| 項目                   | 金額    | 内容                                                                                                                   |
|----------------------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教育施設解体工事             | 6,683 | 旧薫別小中学校1線校舎及び屋体解体工事の実施設計の結果、解体費用に予算不足を生じたことから、費用を追加<br>＜費用不足の要因＞<br>①積算単価の上昇(工事系4%～10%、運搬系3%～30%)<br>②アスベスト含有建材処理費の増 |
| 子ども・子育て支援事業経費        | 1,968 | 平成31年度策定の第2期子ども・子育て支援事業計画策定の基礎資料とするための子育て支援に関するニーズ調査(集計・分析含む。)委託料の追加                                                 |
| 一般廃棄物最終処分場施設整備に要する経費 | 4,164 | 根室北部衛生組合の一般廃棄物最終処分場施設更新に伴う候補地の地形地質調査、施設配置計画策定のための基本構想策定業務委託料の負担金<br>※経費8,326,800円を標津町と羅臼町で折半                         |
| 日本遺産認定推進事業           | 2,713 | ①日本遺産認定の再申請に向けた文化庁協議旅費、日本遺産選考委員の招聘、シンポジウム等開催経費の追加<br>②10月開催のアイヌ文化祭に絡めた町独自のアイヌ文化体験プログラム(丸木舟体験、チャシツアー、刺繍体験等)の実施経費      |

平成29年度の決算を  
決算審査特別委員会  
に付託

町より報告のあつた平成29年度一般会計及び特別会計へ『国民健康保険特別会計(事業勘定)』等8件、合計9件について、議長と議会選出監査委員を除く8名により決算審査特別委員会を設置し付託した。

委員長

吉田

智

副委員長

山崎 陸郎



健全化判断比率等  
を承認

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、健全化判断比率等の報告があり、承認した。

実質公債比率は7.6%(早期健全化基準は25%)で、資金不足比率はない。

## 一般質問

一般質問とは、定例会において、各議員が住民を代表して、行政全般にわたり町執行機関の政策・方針を質す事です。  
単に疑問を晴らし、事実関係を明らかにするだけでなく、現行の政策を、見直し、新規政策を提言する議員の重要な活動です。

# 町政のそこが聞きたい

平成30年第3回定例会(9月13日)で4議員が一般質問をしました。  
各議員の質問項目とその内容を要約して掲載します。

## 小川 悠治 議員

5ページ

- 『高齢者福祉部門』『子ども・子育て部門』は全道上位

### 『障がい福祉部門』の



充実を!

### 標 津 町

- ◎障がい者基本計画
  - ◎第5期障がい福祉計画
  - ◎第1期障がい児福祉計画
- の計画書(平成30年3月策定)



## 山崎 陸郎 議員

6ページ

- 遊休施設となった  
旧【双葉保育園】及び  
旧【標津幼稚園】の  
土地・建物の利活用の方針は?



旧【双葉保育園】



旧【標津幼稚園】

遊具・フェンスが撤去された旧【双葉保育園】及び旧【標津幼稚園】

## 吉田 智 議員

7ページ

- WHO(世界保健機関)が疾病認定  
【ゲーム障害】子どもたちに更なる  
注意喚起を!

- 【RST】を利用し  
子どもたちの読解力の把握・向上を!

一般社団法人「教育のための科学研究所」が【RST(リーディングスキルテスト) Reading Skill Test: 基礎的読解力調査】を開発

日本の中高生の多くは、中学校の教科書の文章を正確に理解できない



テレビ・ゲーム・スマホ・ケータイを長時間、視聴・使用すると前頭前野等の茶褐色部分の脳の働きが弱くなる

「しべつ議会だより」  
第162号より



(社)「教育のための科学研究所」  
代表理事・所長  
新井紀子氏の著書

## 山崎 英司 議員

8ページ

- 標津町海岸施設の  
機能強化・嵩上げ・新設及び  
伊茶仁川河口の波浪対策は?



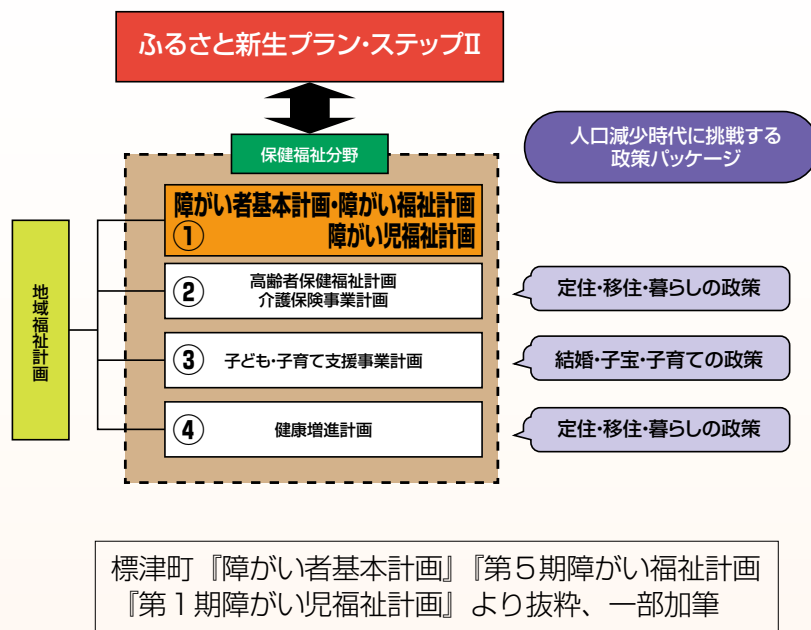
浸食が進む旧「国後展望閣」跡地



小川 悠治 議員

**問** 標津町の地域福祉対策において②高齢者福祉部門③子ども・子育て部門の政策に関して、道内において、上位に位置すると

## 地域福祉計画の位置付け



## ①『障がい福祉部門』の充実を！

②高齢者福祉部門 ③子ども子育て部門は全道上位

認識している。しかしながら①「障がい福祉部門」に関しては、残念ながら遅れていると言わざるを得ないが？

**答** 本年3月に

●障がい者基本計画

●第5期障がい福祉計画

●第1期障がい児福祉計画

の3本の障がい者(児)福祉計画を策定し「一人ひとりの生き方がかけがえないものとして尊重され」とともに暮らすまちづくり」を基本理念に進めている。

**問** 道や福祉事業団の見解では、現状での標津町における障がい者施設の設置は難しいとの分析である。

実現には、当事者の決意と自治体の積極的姿勢が望まれるが？

**答** 先の3本の計画書に掲載の通り、町内に

## 平成29年度 標津町障がい者数

(単位：人)

| 区分     | 18歳未満 | 18歳以上 | 合計  |
|--------|-------|-------|-----|
| 身体障がい者 | 2     | 256   | 258 |
| 知的障がい者 | 23    | 50    | 73  |
| 精神障がい者 | 0     | 19    | 19  |
| 合計     | 25    | 325   | 350 |

**問** グループホーム(共同生活援助施設)の必要性を協議する中で、設置に向け検討して行く。

障がいのある子が親亡き後、住み慣れた地域で、安心して暮らせる事が親の願いである。

障がいを抱える子と親にとっては、極めて厳しい難題である。

障がい者施設の設置に関して、「検討して

## 標津町の『障がい者(児)福祉計画』

### ○障がい者基本計画

障がい者に関わる施策の基本方針を分野ごとに明らかにする。  
根拠法：【障害者基本法第11条】

### ○第5期障がい福祉計画

「障がい者基本計画」の中の生活支援策についての実施計画的な位置付け。

根拠法：【障害者総合支援法第88条】

### ○第1期障がい児福祉計画

障がい児の通所支援等の体制確保や基盤整備の目標値を設定。  
根拠法：【児童福祉法第33条】

**答** 施設経営においては、施設関係の人材及び安定的な入所者確保等の問題があるが、民間民営(第二セクター)の方針で、接点のある社会福祉法人と設置に向け、具体的な取組みを進めて行く。  
認知症高齢者との共生も含めて考慮して行きたい。

# 遊休施設となった旧双葉保育園・ 旧標津幼稚園の建物・土地の活用は？



山崎 陸郎 議員

**問** 総務省が7月11日、今年1月1日時点での住民基本台帳に基づく、人口を発表、釧路・根室管内13市町村

|      | 人口<br>(人) | 前年比増減数<br>(増減率=%) | 前年比自然増減数<br>(増減率=%) | 前年比社会増減数<br>(増減率=%) |
|------|-----------|-------------------|---------------------|---------------------|
| 釧路市  | 172,391   | ▲2,127 (▲1.22)    | ▲1,235 (▲0.71)      | ▲892 (▲0.51)        |
| 釧路町  | 19,946    | ▲25 (▲0.13)       | ▲46 (▲0.23)         | 21 ( 0.11)          |
| 厚岸町  | 9,648     | ▲189 (▲1.92)      | ▲80 (▲0.81)         | ▲109 (▲1.11)        |
| 浜中町  | 5,997     | ▲104 (▲1.70)      | ▲21 (▲0.34)         | ▲83 (▲1.36)         |
| 標茶町  | 7,728     | ▲93 (▲1.19)       | ▲64 (▲0.82)         | ▲29 (▲0.37)         |
| 弟子屈町 | 7,428     | ▲179 (▲2.35)      | ▲83 (▲1.09)         | ▲96 (▲1.26)         |
| 鶴居村  | 2,538     | 13 ( 0.51)        | ▲8 (▲0.32)          | 21 ( 0.83)          |
| 白糠町  | 8,037     | ▲178 (▲2.17)      | ▲90 (▲1.10)         | ▲88 (▲1.07)         |
| 根室市  | 26,399    | ▲619 (▲2.29)      | ▲207 (▲0.77)        | ▲412 (▲1.52)        |
| 別海町  | 15,377    | ▲120 (▲0.77)      | ▲28 (▲0.18)         | ▲92 (▲0.59)         |
| 中標津町 | 23,661    | ▲226 (▲0.95)      | ▲52 (▲0.22)         | ▲174 (▲0.73)        |
| 標津町  | 5,375     | 7 ( 0.13)         | ▲19 (▲0.35)         | 26 ( 0.48)          |
| 羅臼町  | 5,231     | ▲127 (▲2.37)      | ▲35 (▲0.65)         | ▲92 (▲1.72)         |

※1月1日現在。人口は外国人を含む。▲はマイナス

北海道新聞 平成30年7月12日(木)



旧【双葉保育園】

の人口（外国人含む）は前年比マイナス1.26%、967人の減少となった。その中で鶴居村と標津町が社会増により増加した。標津町は人口減少時代に挑戦する政策パッケージで定住・移住・暮らしの政策、結婚・子宝・子育ての政策、



旧【標津幼稚園】

産業・経済の政策、の成果と思われる。昨年4月に標津認定こども園『あおぞら』が開園したことにより、旧双葉保育園・旧標津幼稚園が休眠状態にあるが、土地・建物のそれぞれの活用について質す。



標津認定こども園 あおぞら

**答** 旧双葉保育園は耐震度がないので一部（くれよんハウス）を残して解体する予定。旧標津幼稚園は鉄筋コンクリート（耐震構造）なので、現在は防災備品の収納庫として使用している（避難所が近い）。両園の遊具・柵は9月中に撤去する。

建物解体後は、公共用地として、あらゆる可能性を検討する。

平成30年8月21(火曜日)付



吉田 智 議員

**問** 私は昨年2回の定例会の一般質問において、「メディアの不適切な使用による子供たちへの弊害」を訴え、子どもたちの健康に対し、警鐘を鳴らして来た。今回、WHOより

**【ゲーム障害】**が疾病と認定された。更なる注意喚起が求められるが、対応は？

**答 教育長** 電子メディアの問題は、全国共通の課題である。各地の先進事例を取り入れた上で、学校・家庭・地域と連携し、くり返し粘り強く効果的に、注意喚起等の取り組みを行っていく。

## 「ゲーム障害」とは…



WHO(世界保健機関)が疾病認定「ゲーム障害」  
子どもたちに更なる注意喚起を!

「RST」を活用し  
子どもたちの読解力の  
把握・向上を!

**【RST】**を開発した(一社)「教育のための科学研究所」の調査によると、中高生の多くは、中学校の教科書の文章を正確に理解できない。(下記の「6分野の読解力」の内、特に、**3**と**6**が低い)このままでは、将来、現在の職業の約5割を※Aに代替えされると言つ。

**【RST】**を活用し、子どもたちの読解力を把握し、向上を図るべき。見解を質す。

**答 教育長** 標準型自習スタイルにより、言語活動等の学習基盤作りを一層推進して行く。**【RST】**に関しては、有効性を確認の上、その導入を検討する。

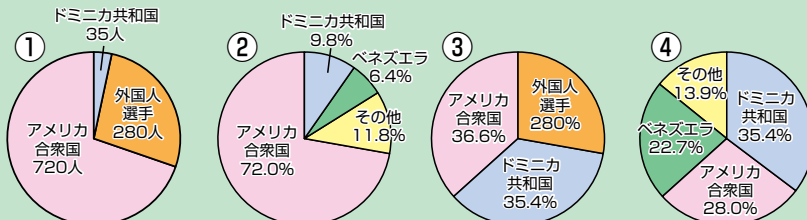
## 【RST:基本的読解力調査】の問題例

## ⑤「イメージ固定」の問題

## 問題

次の文を読み、メジャーリーグ選手の出身国の内訳を表す図として適当なものをすべて選びなさい。

メジャーリーグの選手のうち28%はアメリカ合衆国以外の出身の選手であるが、その出身国を見ると、ドミニカ共和国が最も多く35%である。



正解:②

中高生の正答率

中学生の88%  
高校生の72%が  
不正解

| 全国<br>中学生<br>(496名) | 中1<br>(145名) | 中2<br>(199名) | 中3<br>(152名) | 全国<br>高校生<br>(277名) | 高1<br>(181名) | 高2<br>(54名) | 高3<br>(42名) |
|---------------------|--------------|--------------|--------------|---------------------|--------------|-------------|-------------|
| 12%                 | 9%           | 13%          | 15%          | 28%                 | 23%          | 37%         | 36%         |

「…のうち」「…以外」を読み飛ばしているか、その使い方を理解していない。  
問題文を熟読すると72%がアメリカ合衆国出身であると理解できる。

【RST】 Reading Skill Test  
基礎的読解力調査

## リーディングスキルテスト

「教育のための科学研究所」が2016年に考案した。対象は小学6年生以上で、これまでに中高生を中心に全国で約5万人が受けた。昨年6月には、道内10校の1～3年生980人が受検した。主語と述語の関係など文の構造を正しく認識しているかを問う「係り受け」、図やグラフの意味を読み取れるかを問う「イメージ固定」など6分野で構成される。パソコンなどを使って受検し、受検者の課題などを分析する。

## 【RST】の問題タイプ

①係り受け分析(認識)

②照応解析

③同義文判定

④推論

⑤イメージ固定

⑥具体例固定(認識)

・国語辞典的な定義

・数学的な定義

Aも子どもたちも  
不得手な分野

6分野の読解力

※ AI:Artificial Intelligence (人工知能) コンピューターを用いて人間の知能行動を人間に代わって行うシステムの事

## 標津町海岸施設の機能強化・嵩上げ 新設及び伊茶仁川河口の波浪対策は？



山崎 英司 議員

**問** 9月に入り台風、低気圧が多く襲来する季節となり高潮、波浪が予想される。

標津町海岸の防波堤が設置されていると所以外は、浸食が著しく見受けられ、特に顕著な箇所が崎無異海岸、伊茶仁海岸、野付半島海岸と考える。

ありうる被害を予想すると崎無異海岸では高波による倉庫への浸水、伊茶仁海岸では土地の浸食、野付半島海岸では家屋の破損等が懸念される。また伊茶仁川河口では波浪によ

り河口が狭くなることにより、満潮時に川の逆流が起き、近隣の家屋等に浸水の恐れが懸念される。



崎無異地区海岸の状況

海岸の浸食等の原因としては消波堤の老朽化さらに沈下による機能不足と思われるが、施設の強化、嵩上げ、新設及び伊茶仁川河口波浪対策に対し、地域住民より要望がある。道や国との協議は進められていると思うが、今後の対応・対策について伺う。

**答** 標津沿岸は全体的に海岸浸食が進んでいるのは承知している。町としても、従来から海岸管理者の北海道に対し、随時早急な対策を懸命に継続要望しているところである。

しかしながら海岸浸食の対策事業には、多額の費用を要すること、また北海道においては本町以外でも早急に対応を迫られている現状があることなどから、本町が要望している全箇所について早期に事業採択になることは不確実な状況である。



忠類地区海岸の状況

北海道として、より優先順位の高い箇所に事業が集中することが



野付半島新型消波ブロック



野付半島における海水面と同じ高さの消波ブロック

考えられる中、本町においても今後とも粘り強く、海岸浸食対策事業が推進されるよう要望を続けていく。



伊茶仁川河口の波浪状況

伊茶仁川河口の閉塞については、北東方向からのうねりによる土砂の打上げが主な原因と考えられますが、専門業者とどういう工法での工事が適切なのかを検討していかなければならないと考えている。来年度は伊茶仁川の水位を自動計測する機器を導入する予定もあり、それにより定量的に川の水位が監視可能になるなど、地域住民の生活に危険が及ばぬよう努めてまいりたい。

# 常任委員会の動き

## 町内行政視察研修等

参考

北海道新聞

平成30年5月6日(日曜日)付

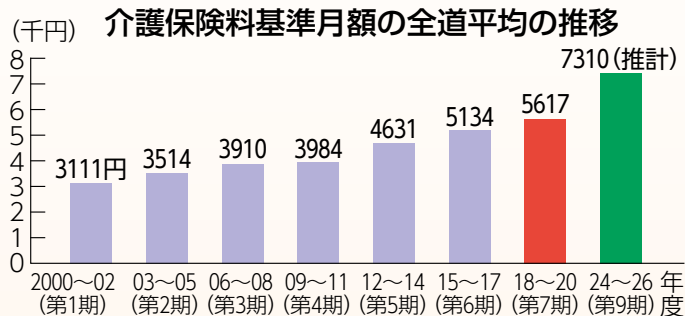
29面

第1社会

### 本年度から介護保険料が下がった8自治体

| 自治体 | 基準月額(円) | 下げ幅(円) |
|-----|---------|--------|
| 豊富町 | 5500    | 600    |
| 標津町 | 5000    | 600    |
| 厚岸町 | 4600    | 500    |
| 苫前町 | 4908    | 194    |
| 浦幌町 | 5400    | 150    |
| 豊頃町 | 4845    | 89     |
| 釧路町 | 5084    | 50     |
| 小平町 | 4975    | 6      |

※119自治体・広域連合は引き上げ、29自治体は据置き



高齡化と共に介護保険料が上昇を続けている。4月に改定された道内156自治体・広域連合の65歳以上の介護保険料基準月額の平均は、5617円と、改定前より9・4%増額となった。

### 『介護保険料』減額の要因

★7月17日(火)、標津町保健福祉センター「ひまわり」の行政視察研修を実施した。

文教

福祉

建設

福祉

**道内の介護保険料** 道内156自治体・広域連合の65歳以上が支払う介護保険料の基準月額の平均は現在5617円で、介護保険制度が始まった2000年度から1・8倍に増えた。最高額は上川管内愛別町の6975円、最低額は同管内音威子府村の3千円。高齡化に伴う要介護者の増加で、道の推計では25年度の基準月額の平均が7310円に達するとの試算があり、対策は必須だ。

**標津町の介護保険料減額の主な要因**

- ①介護給付費準備基金の取り崩しによるもの【1500万円】
- ②介護保険事業費用総額の減によるもの【1億8700万円】

その様な中、減額した自治体が8力所ある。宗谷管内豊富町と標津町が、下げ幅が道内最大の600円となった。

**参考** 参照

減額の要因に関して保健福祉センター職員より説明を受けた。

### 介護予防体操『いきいき百歳体操』



『いきいき百歳体操』を体験する6名の委員

豊富町は「元気体操スクール」、標津町は「いきいき百歳体操」介護予防体操の推進も、介護保険料引き下げの一因と報道された。※ 当委員会は、「ひまわり温泉」前において、町民の皆様と共に、介護予防体操「いきいき百歳体操」を体験した。

### NPO法人「キラ工房」

標津町唯一の障がい者就労継続支援事業所を運営する、NPO法人「キラ工房」の活動状況の報告を受けた。

総務

経済

## ヒグマ対策について

### 説明を求める

北海道内各地でヒグマの出没が報じられている状況の中で8月23日総務経済常任委員会を開催し、農林課より平成30年の標津町内で

のヒグマ出没状況、出没場所、出没情報を受けた後の町としての対応について説明を受けた。又、平成29年4月に設定された「知床半

島ヒグマ管理計画」のゾーニングと行動段階区分による管理の方策についても説明された。※ゾーニングとは、知床半島を4つに分け、それぞれ特性に基づき、対応を講じる。また、同日財政課から「旧教員住宅貸付状況」について説明を受けた。



崎無異地区で捕獲されたヒグマ



金山地区で目撃された親子グマ

## 旧教員住宅貸付状況

平成30年8月13日現在

| 住宅区分     | 戸数 | 入居数 | (入居の内訳) |       |        |        |     | 空戸数 | 備 考                                  |
|----------|----|-----|---------|-------|--------|--------|-----|-----|--------------------------------------|
|          |    |     | 定住促進住宅  | 農業後継者 | 農業スタッフ | 漁業スタッフ | その他 |     |                                      |
| 旧上古多糠小学校 | 3  | 3   | 3       |       |        |        |     | 0   |                                      |
| 旧北標津小中学校 | 8  | 8   | 2       | 2     | 1      |        | 3   | 0   | 入居の定住促進住宅のうち、1戸は、9月1日から入居の契約を交わしている。 |
| 旧忠類小学校   | 2  | 2   | 1       |       |        | 1      |     | 0   | 平成31年度以降取壊し予定1戸は、戸数に含めていない。          |
| 旧古多糠小中学校 | 9  | 9   |         | 1     | 7      |        | 1   | 0   |                                      |
| 旧薫別小中学校  | 7  | 2   |         |       | 1      |        | 1   | 5   |                                      |
| 計        | 29 | 24  | 6       | 3     | 9      | 1      | 5   | 5   |                                      |

# 研修会報告

全国町村議会議長会主催  
平成30年度 町村議会広報研修会

10月10日 於：シェンバツハ・サボー東京

～読み手に伝わる文章の書き方・デザインの力で伝わる議会広報誌～

## 広報特別委員会

全国議会広報研修会に  
広報特別委員会  
2名参加



平成30年度の町村議会広報研修会が、10月10日、東京都シェン・バツハ・サボーにて開催され、大垣委員長、山崎（陸）委員が参加した。

この研修会は、全国町村議会議長会主催で開催され、北海道・東北・関東地区から205町村議会480名が参加。議会活動に対する住民の関心と理解を深めることが求められている状況に鑑み、町村議会広報実務担当者を対象にした研修及び意見交換の場を設け、議会広報の発展に資することを目的としている。（全国研修会には、隔年で2名ずつ参加）

読み手に伝わる

文章の書き方

講師

朝日新聞メディア  
プロダクション

校閲事業部長／作家

● 前田 安正氏  
まえだ やすまさ



前田講師

プロフィール

早稲田大学卒業・1982朝日新聞入社、校閲部・整理部：現職朝日新聞では国語問題、常用漢字について特集や連載、コラムを担当。現在、「ことばのたまゆら」を担当。主な著者「漢字んな

話」「漢字んな話2」「マジ文章書けないんだけど」他

デザインの力できつと  
伝わる議会広報に

講師

株式会社コンセント  
アートディレクター

● 筒井 美希氏  
つつい みき



筒井講師

プロフィール

武蔵野美術大学デザイン情報学科卒業。雑誌・書籍・広報誌・学校案内などのアートディレクション／デザインを行う。（美術表現芸術表現をもちいた総合演出を手がける職務）現在は映像制作など、媒体を問わず幅広いジャンルの「伝わるデザイン」を手がけている。

最優秀賞作に見る

光彩を放つ編集力

講師

グラフィック

デザイナー

● 長岡 光弘氏  
ながおか みつひろ



長岡講師

プロフィール

株式会社たき工房・たきホールディングスAO及びCD、取締役を経て、2015年よりフリーのグラフィックデザイナーとして活動。主な著書『グラフィックデザイナーの実際』『グラフィックデザイナーの仕事』他。

寄稿



「移住」

堀上

徹おさみ

「住んでは癒し」「暮らしでは快適」「老いては安らぎ」という標津町の移住促進キャッチフレーズにも惹かれてこの町に移住して早6年が経過した。  
 北海道、とりわけ道東の大自然に魅せられた妻の強い希望での移住決意であつたが、古希を過ぎてからの大都会横浜からの移住はそれなりの決意が必要であり不安でもあつた。  
 しかし、それらが杞憂であつたことがこの地で生活して直ぐに分かつた。  
 自然が豊かであることは移住の最大の決め手であつたが、生活を始めてみて、住民の人柄の良さやおいしい食べ物や豊富であることなどなど都会では味わえない体験をさせていただいて

た知識もないが、一時話題になつた、元総務大臣の増田寛也氏が中心となつて作成した所謂「増田レポート」によると、人口問題と地方創生あるいは地方消滅とが大いに関係しているといふ。  
 今年4月に厚生労働省の人口問題研究所が発表した2045年での全国の地域別推計人口によると、道内の人口は現在の538万人が2045年には25%減の400万人になるといふ。全道全てで減少し、約半数の85市町村で人口が半分になるとの予測。全国人口は16・3%減の1億642万人に落ち込む。標津町は現在の約5200人が半分強の2800人になるとのこと。  
 一方、その地域の人口に對する65歳以上の人が占める割合、すなわち高齢化率では標津町は29・1%で全道178市町村の中では若い順で22番目である(以上北海道新聞 平成30年3月31日朝刊による)。これは

町の様々な施策の結果であると思われる。  
 人口減少を防ぐということではなく人口を増やすという視点から考えると、雇用促進と並行して移住促進もひとつの方法だろう。そのためにはこの町の魅力を町外の人に知ってもらうことが最重要であることは言う待たないが、同時に町民が町の素晴らしさを認識し、誇りに思つても重要だ。  
 町の魅力を知ってもらう方法には色々あるが、観光促進は大きな施策のひとつであらう。特に体験観光は重要だ。筆者は移住直後から観光ガイド協会に入らせていただき、色々な講習を受講し、ポー川をはじめとするこの町の魅力を沢山教えてもらった。だが、観光客をこの町にできる力量はない。ご案内できる力量はない。しかし、移住前に住んでいた首都圏の友人や知人が標津町に來た際に、彼らにガイド協会で教わつた内容を説明することで、より正確に町の魅力を紹介することになる。リピーターも含めて6年間で約90人の我が家への訪問客は皆、「標津の町は素晴らしい!」との印象を持って帰るが、移住に到るまでには大きなバリアがある。それは当然のことである。

とであらう。しかし先ずは知ってもらふことが大切だと思つてゐる。  
 最後に、歳を重ねるにつれ病気のことが気になる。内科と外科は標津町立病院で診断・治療してもらえ、それ以外には他の病院のお世話にならざるを得ない。よほど重篤な病気なら釧路や札幌に行くことも止むを得ないが、出来れば中標津病院で診断・治療が可能であらうと思う。移住直後は中標津病院には全科に常駐医が居られたが、その後徐々に出張医になったり、閉科になったりした。最近では徐々に改善されつつあるように聞ける。近くに子供や親類が居れば心強いが、高齢の夫婦だけの生活ではこのことが一番気にかかる。病院の充実が移住を決める大きな要因でもある。  
 冒頭述べた「老いては安らぎ」は、この課題がクリアされれば心から安らげるのではないかと思う。

以上、取り留めのないことを書きとめました。ミニテニスやパークゴルフなどのサークルに入れていただき、この地での生活を大いに楽しんでいます。  
 9月1日から秋鮭漁の網入れが始まりました。今年こそ大漁になります様願つてます。  
 9月6日未明、胆振東部地震発生、震度7の大地震、多くの方が犠牲になりました。  
 苫東厚真火力発電所の緊急停止により道内全域が停電「ブラックアウト」の異常事態となりました。  
 標津町の酪農家も停電で搾乳できない懸念もあつたが、(株)上田組が発電機等をレンタルし多くの農家を廻つたことで乳牛の被害が最小限に抑えられた様です。  
 災害の規模が年々大きくなっています。日頃の準備が大切です。  
 備えあれば憂いなし

編集室



(山崎 陸郎)